

三中校長だより 第2号



学校教育目標：「優しさ・賢さ・たくましさを備えた
社会人基礎力の育成」

藤井寺市立第三中学校
令和8年（2026年）4月



みんなが気持ちのいい生活を送るために

校長 寺田 剛

令和8年度がスタートして、約1か月がたちました。1年生も少しずつ中学校の生活に慣れてきました。各教科でさまざまな先生方の授業を受けて学習しています。給食準備のしかたもすぐに慣れて、準備時間に用意ができて「いただきます」ができています。

<あいさつについて>

子どもたちが登校してくるときには、できるだけ校門で出迎えるようにしています。元気な声で「おはようございます。」と、自分からあいさつをする生徒。こちらから「おはようございます。」と、声をかけると、「おはようございます。」と声に出して返してくる生徒。声にはなっていないけれども、口元では「おはようございます。」と言っている生徒。会釈をする生徒…。そこに顔の表情やしぐさもあわさってきますので、「あいさつをする」と一口に言っても様々ありますが、生徒一人ひとりのあいさつで、生徒たちの気持ちが伝わってくることを嬉しく思っています。

本校では、「温かく、ぬくもりのある生徒集団」「人間関係力を構築し、人と交わる力やコミュニケーション力」を育てることを目標としています。『あいさつはコミュニケーションの始まり』とされています。みんなで気持ちのいいあいさつを心がけてみませんか？

<自分も他の人も大切に>

みんなが気持ちのいい生活を送るためには、その場が安心・安全な場所であることは必要不可欠です。そのような場所とするためには、「自分も他の人も大切に」していく必要があります。その時に大事なことの一つが、「想像力」です。「いま、相手は何を考えているのだろう」、「自分がこのようなことを言ったりしたら、相手はどう感じるのだろう」、「今、自分がこのようなことをすれば、この先どういう結果になるのだろう」。

本校では、特定の教科等で知識として学ぶだけではなく、あらゆる教育場面で様々な教育活動を通して生徒が学んでいくようにしています。人生は自己選択・自己決定の連続です。自分も他の人も大切にしたい授業や活動を積み重ね、互いを認め合い、自己選択・自己決定していく中で、人権を尊重できる子どもを保護者・地域の皆様とともに地道に育ててまいりたいと考えています。